

資料9

小学生とその保護者用

山口市子ども・子育てに関するアンケート調査 いただいた回答は山口市の子育て支援の充実に生かされます

【調査票】

◆本アンケート調査について

- ご回答いただいた内容は、本アンケート調査の目的以外に使用することは一切ございません。また、その内容によって個人を特定することもございません。
- 子どもたち自身の考えを計画策定のための参考にさせていただくため、宛名のお子さんご自身に向けた質問項目があります。（ご協力は任意です。対象は小学4～6年生）

◆ご回答にあたってのお願い

- 特にただし書きのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
- ご回答は、この調査票の封筒の宛名の保護者の方（問 33 以降は小学4年生以上のお子さん）がご回答ください。
- 設問によってご回答いただく方が限られる場合があります。ただし書きや矢印に沿ってご回答ください。
- 本アンケート調査は、Web上でのインターネット回答と、この調査票に記入する回答方法があります。

※Web上でのインターネット回答か、この調査票のどちらか一方のみでご回答ください。

〈Web上でのインターネット回答の場合〉

右の二次元コードを読み取り、以下のログインID（4桁の数字）を入力し、回答してください。

I D : 0000

二次元コード

※こちらのIDは、重複回答を確認するものであり、個人を特定するものではありません。

〈この調査票に記入する回答の場合〉

ボールペン、鉛筆等をご使用され、あてはまる選択肢の番号に「○」をつけてください。

調査にご協力いただけましたら、お手数ですが、

令和5年12月15日（金）までに

Web上でのインターネット回答 もしくは 同封の返信用封筒（切手不要） を

ご利用の上、切手は貼らずにご投函ください。

◆お問い合わせ先：山口市こども未来課 総務担当・子育て応援担当

電話：083-934-4138 083-934-2756 FAX：083-934-4147

e-mail：kodomom@city.yamaguchi.lg.jp

1 ご家族の状況等についてうかがいます。

問 1 あなたのお住まいの地域は次のうちどちらですか。(1つだけ○)

- | | | | | |
|----------|--------|--------|---------|---------|
| 1. 阿東 | 2. 徳地 | 3. 仁保 | 4. 小鱈 | 5. 大内 |
| 6. 宮野 | 7. 大殿 | 8. 白石 | 9. 湯田 | 10. 吉敷 |
| 11. 平川 | 12. 大歳 | 13. 陶 | 14. 鑄銭司 | 15. 名田島 |
| 16. 秋穂二島 | 17. 嘉川 | 18. 佐山 | 19. 小郡 | 20. 秋穂 |
| 21. 阿知須 | | | | |

問 2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。(() 内に数字でご記入ください。)

小学()年生

問 3 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。

きょうだい数()人

問 4 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。
(1つだけ○)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問 5 このアンケートにご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問 6 家族構成をお答えください。(1つだけ○)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 二世帯世帯(子どもと親) | 2. 三世帯世帯(子どもと親と祖父母) |
| 3. その他の世帯() | |

問 7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。(1つだけ○)

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他() |
|----------|---------|---------|----------|-----------|

問 8 日頃、宛名のお子さんの面倒をみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母などの親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

3 放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 10 宛名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか(過ごさせたいと思いますか)。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ現状と希望する(該当する)週あたり日数を数字でご記入ください。また、「5. 放課後児童クラブ」の場合には、現状の利用時間と利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時 のように24時間制でご記入ください。

	現 状	希 望
1. 自宅	週 () 日くらい	週 () 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 () 日くらい	週 () 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、 学習塾、スポーツ少年団など)	週 () 日くらい	週 () 日くらい
4. 児童館 ^{※1} 【無料】 (児童館内で行う放課後児童クラブを利用したい場合は、 「5. 放課後児童クラブ」に回答してください。)	週 () 日くらい	週 () 日くらい
5. 放課後児童クラブ ^{※2} 【有料】 ※現在の実施状況 ・対象児童 1～6年生 ・開所日 平日・土曜・長期休業中 ・開所時間 18時まで	週 () 日くらい →下校時から ()時 ()分まで	週 () 日くらい →下校時から ()時 ()分まで
6. 放課後子ども教室 ^{※3} 【無料】	週 () 日くらい	週 () 日くらい
7. 放課後等デイサービス ^{※4} 【有料】	週 () 日くらい	週 () 日くらい
8. ファミリー・サポート・センター【有料】	週 () 日くらい	週 () 日くらい
9. その他(地域交流センター、公園、図書館など)	週 () 日くらい	週 () 日くらい

※1 児童館…子どもたちに、遊びや行事、クラブ等を通じて友達とのふれあいを深め、助け合う心や工夫する力を育てる施設です。

※2 放課後児童クラブ…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、子どもの生活の場を提供する事業です。地域によって学童保育などと呼ばれています。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります(通年利用の場合、月額 3,000円)。

※3 放課後子ども教室…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や地域交流センターで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※4 放課後等デイサービス…心身に障がいまたは発達の遅れがある児童を対象に、学校終了後または休業日に、生活能力の向上に必要な訓練、社会との交流の促進などを行います。サービスの利用にあたっては、一定の利用料がかかります(原則1割負担、所得に応じて上限月額4,600円または37,200円)。

問 11 問 10 で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。平日、土曜日、日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期休暇中のそれぞれについて回答してください。(1)から(4)のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけ、利用したい日数・時間帯を()内に(例)18時のように24時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります(通年利用月額3,000円、学年始め・学年末各1,000円、夏休み8,000円、冬休み2,000円)。

(1) 平日(1つだけ○)

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい日数・時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい		1週当たり ()日
3. 利用する必要はない		下校時から()時()分まで

(2) 土曜日(1つだけ○)

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい		()時 ()分から()時()分まで
3. 利用する必要はない		

(3) 日曜日・祝日(1つだけ○) ※現在、日曜日・祝日は実施していません。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい		()時 ()分から()時()分まで
3. 利用する必要はない		

(4) 長期休暇中(1つだけ○)

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい		()時 ()分から()時()分まで
3. 利用する必要はない		



4 宛名のお子さんの子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 12 下記の事業をこれまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いませんか。①～⑩の事業について、「認知度・利用状況」、「今後の利用意向」ごとにあてはまる番号に○をつけてください。

		認知度・利用状況			今後の利用意向	
		利用したことがある	知っているが、利用していない	知らない	利用したい	利用しない
①	就学相談 (次年度、小・中学校に入学する児童・生徒で、心身になんらかの心配があり、就学に不安を感じている保護者からの相談を受けています。)	1	2	3	1	2
②	教育相談室 (不登校やいじめ、問題行動等をはじめ、学校生活、家庭生活のさまざまな悩みについて相談を受けています。)	1	2	3	1	2
③	家庭児童相談室 (子育てについて悩んだときなどの相談窓口です。)	1	2	3	1	2
④	あすなろカウンセリング (臨床心理の専門家が、「子どもが学校へ行きたがらない」、「子どもにどのように対応してよいかわからない」などの相談に対応します。)	1	2	3	1	2
⑤	家庭教育訪問支援受付ダイヤル (知識や経験が豊富な家庭教育支援員が、直接家庭を訪問して、子育てやしつけに関する相談に応じます。)	1	2	3	1	2
⑥	家庭教育講座「子育てマナビィ」 (家庭の教育力を高め、次代を担う子どもたちが健全で豊かな人間性を育てていくための講座です。)	1	2	3	1	2
⑦	ファミリー・サポート・センター (子育ての援助を受けたい人と、援助をしたい人がグループをつくり、センター事務局を橋渡し役として、会員同士が子どもの世話を一時的に有料で援助し合う会員組織です。)	1	2	3	1	2
⑧	山口市子育て応援サイト(山口市ウェブサイト内) (子育てに関する制度や各種手当、サービスなどの情報が年齢別・目的別に閲覧できるサイトです。)	1	2	3	1	2
⑨	山口市子育て支援情報ハンドブック (妊娠中から主に小学校までの、子育てやひとり親家庭、障がいのあるお子さんへの支援に関する情報を取りまとめた冊子です。)	1	2	3	1	2
⑩	児童館 (遊びや行事、クラブ等を通して友達とのふれあいを深め、助け合う心や工夫する力を育てる子どもたちの遊び場です)	1	2	3	1	2

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や一時預かりなどの利用についてうかがいます。

問 14 宛名のお子さんについて、現在、私用(冠婚葬祭、リフレッシュなど)、保護者の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数も()内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数(年間)
1. 日中預かり(保護者が病気などの際に、緊急一時的に児童養護施設等で子どもを預かる事業)	()日
2. ファミリー・サポート・センター	()日
3. トワイライトステイ(保護者の仕事等の際に、児童養護施設等で夜間、子どもを預かる事業)	()日
4. ベビーシッター	()日
5. その他()	()日
6. 利用していない ⇒ 問 14-1 へ	

問 14で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 14-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 特に利用する必要がない 2. 利用したい事業が地域にない 3. 事業の質に不安がある 4. 事業の利便性(立地や利用可能時間など)がよくない 5. 利用料がかかる・高い 6. 利用料がわからない 7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない 8. 利用方法(手続きなど)がわからない 9. その他()

問 15 すべての方にうかがいます。今後、宛名のお子さんについて、私用(冠婚葬祭、リフレッシュなど)、保護者の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。あてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を()内に数字でご記入ください)。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	年間計()日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の習い事など)、リフレッシュ目的	()日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や保護者の通院など	()日
ウ. 不定期の就労	()日
エ. その他()	()日
2. 利用する必要はない	

問 20 宛名のお子さんは地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。(1つだけ○)

- | | |
|-------------------------------|----------|
| 1. 参加したことがある | |
| 2. 参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている | |
| 3. 参加したことがなく、今後も予定はない | ⇒ 問 22 へ |

問 21 20で「1. 参加したことがある」または「2. 参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」に○をつけた方にうかがいます。お子さんが参加したことがある、または今後参加させたい地域活動やグループ活動の種類は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. スポーツ活動 | 2. 文化・音楽活動 |
| 3. キャンプなどの野外活動 | 4. 高齢者訪問などの社会福祉活動 |
| 5. ホームステイなどの国際交流活動 | 6. 子ども会など青少年団体活動 |
| 7. リサイクル活動などの環境分野での社会貢献活動 | 8. 多世代交流活動 |
| 9. その他() | |

8 子育て全般についてうかがいます。

問 22 あなたのお住まいの近く(おおむね30分以内)に、①～④に該当する人(親族、友人、同僚など)がいますか。(①～④のそれぞれについて1つだけ○)

①	あなたが病気で寝込んだときに、身の回りの世話をしてくれる人	1. いる	2. いない
②	わからないことがあると、よく教えてくれる人	1. いる	2. いない
③	家事をやってくれたり、手伝ってくれる人	1. いる	2. いない
④	会うと心が落ち着き、安心できる人	1. いる	2. いない

問 23 あなたは子どもと一緒に遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 24 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 親族(親、きょうだいなど) | 2. 友人、知人 |
| 3. 子育てサークルの仲間 | 4. 近所の人 |
| 5. 保育園・幼稚園・児童館・学校の先生 | 6. 職場の人 |
| 7. 市の窓口や広報、パンフレット、ホームページ | 8. 保健師 |
| 9. インターネット(掲示板・専用サイト等) | 10. テレビ、ラジオ、新聞 |
| 11. 子育て雑誌・育児書 | 12. その他() |
| 13. 情報の入手手段が分からない | |

問 25 子育てに関して不安や負担を感じますか。(1つだけ○)

1. 非常に不安や負担を感じる	}	問 25-1 へ
2. なんとなく不安や負担を感じる		
3. あまり不安や負担は感じない	}	問 26 へ
4. 不安や負担はまったく感じない		
5. なんとも言えない		

問 25で「1. 非常に不安や負担を感じる」「2. なんとなく不安や負担を感じる」に○をつけた方にうかがいます。

問 25-1 その不安や負担は解消できていますか。

1. 解消できている	2. 解消できていない
------------	-------------

問 26 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。

1. いる・ある ⇒ 問 26-1 へ	2. いない・ない ⇒ 次ページの問 27 へ
---------------------	-------------------------

問 26で「1.いる・ある」に○をつけた方にうかがいます。

問 26-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者・パートナー	2. 親や兄弟姉妹などの親族
3. 隣近所の人、地域の友人・知人	4. 職場の人
5. 保育園・幼稚園・学校の保護者の仲間	6. 子育てサークルの仲間
7. 子育てサポーター	8. 学校・児童館の先生
9. 医師・看護師	10. 家庭児童相談室(市子育て保健課)
11. 地域子育て支援拠点施設	12. 母子・父子自立支援員
13. 民生委員・児童委員・主任児童委員	14. 教育相談室(市教育委員会)
15. 市保健センター	16. 県健康福祉センター
17. 母子保健推進員	18. 県児童相談所
19. 放課後児童クラブ	20. やまぐち子育て福祉総合センター
21. やまぐち母子健康サポートセンター	22. 家庭教育訪問支援受付ダイヤル(市社会教育課内)
23. その他()	24. 相談すべきことはない

問 27 子育てに関して、これまでに困ったことや、現在、悩んでいることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの病気や発育・発達に関すること
2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと
5. 子どもとの時間を十分とれないこと
6. 話し相手や相談相手がいないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること
10. 登園拒否などの問題
11. 子育てに関して配偶者、パートナーの協力が少ないこと
12. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること
13. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
18. その他()
19. 特にない

問 28 あなたが現在住んでいる地域の子育て環境について、あなたの意見を回答してください。

(①～⑨のそれぞれについて1つだけ○)

※ここでの「地域」は小学校区程度、「子ども」は18歳未満を考えてください。

		そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	そうは思わない
①	地域には乳幼児と親が自由に集える場がある	1	2	3	4
②	病気や育児疲れの時に、子どもを預けることができる身近なサービスが充実している	1	2	3	4
③	仕事と子育てを両立する保育サービスが充実している	1	2	3	4
④	子どもの健康づくりを支援する体制が充実している	1	2	3	4
⑤	地域の小・中学生は、様々な遊びや体験学習をする場や機会に恵まれている	1	2	3	4
⑥	地域の小・中学生は、違う学年の子どもや、大人、お年寄りなど、様々な年代の人と交流をする機会に恵まれている	1	2	3	4
⑦	学校の取組の周知や施設の開放など、学校と地域の意思疎通や連携が十分である	1	2	3	4
⑧	子どもや子育て支援に関する様々な情報提供や相談機能が充実している	1	2	3	4
⑨	地域に、子どもに声をかけたり、あいさつをしたり、また、悪いことをした時に叱ってくれるなど、子育てを見守ってくれる人が多くいる	1	2	3	4

問 29 子育て支援として、身近な地域の人にどのようなことを期待しますか。(3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 昔の子育てと比較せず、子育ての現状を理解して、温かい目で見してほしい 2. 子育てに関する悩みを聞いたり、相談相手になったりしてほしい 3. 緊急時やほんのちょっとした時などに子どもを一時的に預かってほしい 4. 危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい 5. 子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい 6. 子どもが参加できる地域行事や催しなどを実施してほしい 7. 子どもに遊びやスポーツ、地域の伝統文化など教えてほしい 8. 地域交流センターが子どもたちの居場所の一つとなるようにしてほしい 9. その他(具体的に: _____) 10. 特にない

宛名のお子さんが小学4年生以上の場合

➡、ここからは、お子さんご自身がご回答ください。(ご協力は自由です。)

9

小学4年生以上のお子さんにかがいます。

(名前は書かなくてよいので、自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。答えが思いうかばないときや、答えたくない質問は、そのまま飛ばして次に進んでください)

問 33 学校やふだんの生活の中で困っていること、心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 勉強のこと | 2. 将来のこと |
| 3. 友達との関係 | 4. 家族との関係 |
| 5. 自分の健康のこと | 6. 家族の健康のこと |
| 7. 自分の性格やくせのこと | 8. 部活動やクラブ活動のこと |
| 9. いじめのこと | 10. お金のこと |
| 11. その他() | 12. 特にない |

問 34 あなたが困ったり悩んだりしたときに、話を聞いてくれる人がいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 35 ヤングケアラー*について、知っていますか。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 聞いたことがあり意味も知っている | 2. 聞いたことはあるがよく知らない |
| 3. 聞いたことがない | |

※ ヤングケアラー…家族のために、食事の準備や掃除や洗濯といった家事、見守り、きょうだいの世話、感情面のサポートなどを行う18歳未満のこどものこと。

問 36 病気や障がい、きょうだいがおさないなどの理由で、あなたが手助けしている家族がいますか。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. いる ⇒ 問 36-1 へ | 2. いない ⇒ 問 37 へ |
|------------------|-----------------|

問 36で「1.いる」に○をつけた方にうかがいます。

問 36-1 家族の手助けをしていて、困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 自由な時間がとれない | 2. 睡眠が十分にとれない |
| 3. 勉強する時間がとれない | 4. 友達と遊べないことがある |
| 5. 学校に遅刻することがある | 6. 学校に行けないことがある |
| 7. クラブ活動や習いごとをする時間がない | 8. その他() |
| 9. 特にない | |

問 37 あなたは、^{やまぐちし}山口市で子どもたちが^{げんき}元気にいきいきと生活するためには、^{なに ひつよう おも}何が必要だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもや親が^{しつもん こま}質問や困ったことを^{きがる}気軽にそうだんできる場所を増やす
2. 子育てで困ったときに、^{こま}たすけてくれる人を増やす
3. しょうがいのある・なしにかかわらず、^{いっしょ}一緒に遊び、^{ぼしよ ふ}学べる場所を増やす
4. 子どもを育てる親へ、子育てに^{ひつよう じょうほう とど}必要な情報を届けること
5. 子育てにかかるお金を少なくするようにすること(出産祝いや学校給食、子どものいりよう費が少なくなる
ことなど)
6. お父さんやお母さんが、子どもを育てながら^{しごと かつ}仕事などで活やくできやすくすること
7. お父さんたちが子育てに^{てき さんか}せっきよ的に参加しやすくすること
8. 家や学校以外で、子どもが^{あんしん}安心して^す過ごせる場所を増やす
9. 放課後や休日に、子どもたちが^{ぼしよ}遊べる場所や^{かつどう ふ}楽しい活動を増やす
10. 子どもや子育て^{せだい}世代が^{ぼしよ}くらしやすい場所をつくること

問 38 あなたが、^{しやくしよ}学校の先生や^{つた}市役所の人などの大人へ伝えたいことがあれば、どのようなことでもよいので教えてください。

<hr/>

^{ちようさ}調査にご協力いただきありがとうございました。この^{ちようさひよう ほごしゅ かた}調査票を保護者の方へわたしてください。

保護者の方へ 切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。